

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科科に、非定型大腿骨骨折で受診歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科では、非定型大腿骨骨折と診断された、骨修飾薬使用歴のあるがん患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

1. 研究課題名

がん患者に対する骨修飾薬使用が原因と考えられる非定型大腿骨骨折に関する多施設共同観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 主任部長 平中崇文

3. 研究の目的

神戸大学整形外科では、ゾメタやランマークといった骨修飾薬の使用歴がある、非定型大腿骨骨折と診断された患者さんを対象として、その臨床像、治療経過の調査を多施設共同で行っています。社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科では、この研究に参加しております。

これらの薬と骨折の関係については十分にわかっておらず、治療法も確立されたものがないのが現状です。これまでに診断、治療を受けた患者さんの臨床像、治療経過を調べることで、この骨折の特徴を把握することができれば、今後の治療の発展につなげることができると考えています。そこで2000年1月1日～2020年12月31日のあいだに治療を受けた患者さんのデータをカルテから収集し、その特徴や治療経過を調査する研究を実施することに致しました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

非定型大腿骨骨折と診断された患者さんで、2000年1月1日～2020年12月31日、〇〇の治療(検査)ゾメタやランマークといった骨修飾薬の使用歴がある方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、性別、年齢、身長、体重、既往歴、生活習慣、身体的活動状況、治療経過、X線検査、CT検査、MRI検査、RI検査、エコー検査、血液検査、細菌培養検査、病理組織検査、診察時でのアンケート、生理機能検査、骨密度検査、臨床写真、薬剤投与の使用や適用に関する記録、治療成績などです。

(3) 方法

対象患者さんのデータをカルテから収集し、その特徴や治療経過を調査します。なお参加研究機関は下記の通りです。

代表研究機関

神戸大学大学院医学研究科外科系講座整形外科 (研究代表者：新倉隆宏)

協力研究機関

兵庫県立がんセンター (研究責任者：藤田郁夫)

兵庫県立加古川医療センター (研究責任者：原田俊彦)

兵庫県立西宮病院 (研究責任者：正田悦郎)

兵庫県立淡路医療センター (研究責任者：櫻井敦志)

愛仁会高槻病院整形外科 (研究責任者：平中崇文)

愛仁会明石医療センター（研究責任者：伊藤研二郎）

三田市民病院（研究責任者：角田雅也）

西神戸医療センター（研究責任者：吉田圭二）

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 担当医師 平中崇文

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : takafumi.hiranaka@gmail.com